

とちぎ市議会だより

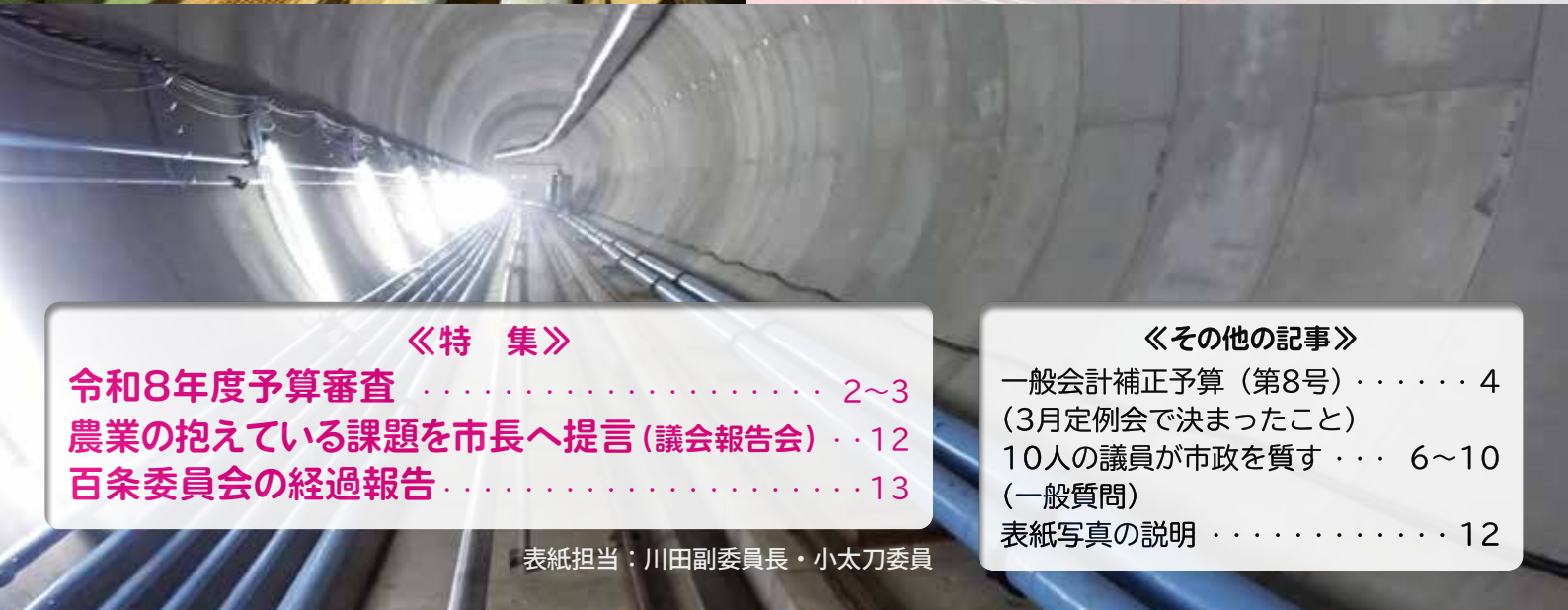
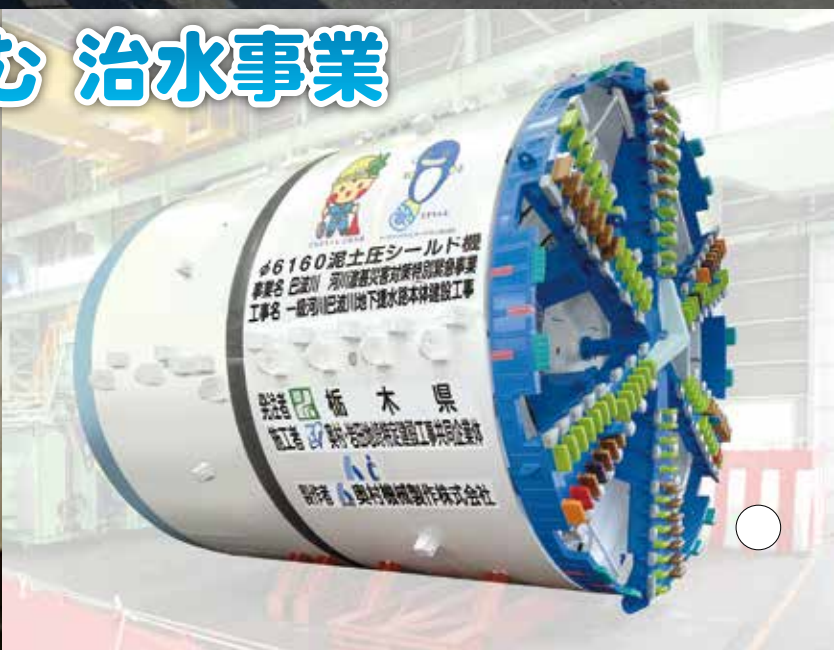
第69号(3月定例会)

2026.4.24発行

未来へつなぐ 安心と安全

諏訪橋(大平町蔵井)

市内で進む 治水事業



《特 集》

- 令和8年度予算審査 2~3
- 農業の抱えている課題を市長へ提言(議会報告会) .. 12
- 百条委員会の経過報告 13

《その他の記事》

- 一般会計補正予算(第8号) 4
(3月定例会で決まったこと)
- 10人の議員が市政を質す ... 6~10
(一般質問)
- 表紙写真の説明 12

表紙担当：川田副委員長・小太刀委員

前年度比で21億6千万円の増 769億9千万円



議案第8号
令和8年度
一般会計予算

可決 賛成 24
反対 3

「予算特別委員会」は、議長を除く全議員が委員となり審査を行いました。

- ・ 3月4日 全体会 (会派質問)
- ・ 3月5日～11日 分科会 (総務・民生・産業教育・建設の担当分野ごとに質疑応答)
- ・ 3月17日 全体会 (各分科会長報告、討論、表決)

予算特別委員会での主な質疑応答

【総務分科会】

コミュニティFM事業費

質 演奏所設備更新工事費の内容は

答 設置から12年経過し、これまで小規模修繕で対応してきた機器類を同等のものに更新する工事である。

マイナ救急事業費

質 制度導入の状況は

答 令和7年10月から総務省消防庁の実証事業に参加している状況であるが、本格導入については、現在実施している内容と同様のものである。

【民生分科会】

不妊治療費助成事業費

質 これまでの事業の経過は

答 令和6年度の助成額は約300万円であったが、令和7年度はそれまで補助対象外であった保険診療や事実婚関係にある夫婦も補助対象としたことなどから、約500万円の助成額となる見込みである。



【産業教育分科会】

中小企業等奨学金返還支援補助金

質 制度の内容は

答 市内に定着する人材の確保および市内中小企業等の雇用促進を図るため、従業員の奨学金返還支援を実施している市内中小企業等に対して、支援に係る経費の一部を補助する制度である。

会計年度任用職員人件費

(学校教育課)

質 令和7年度当初予算からの増額理由は

答 急増している外国人児童生徒に対応するため日本語指導員1名の増員と、令和8年度から開始するメタバースを利用した不登校支援に対応するための教育支援相談員2名を増員するためである。

【建設分科会】

市有建築物定期点検業務委託費

質 令和7年度当初予算からの増額理由は

答 令和8年度において、新たに都賀総合支所と消防本部の庁舎が定期点検の対象となることに加え、設計技師単価が上昇傾向にあるためである。

本会議での討論(抜粋)

反対(白石議員)

「住民の暮らしを守る防波堤としての役割を果たしていない」

不安定な世界情勢のありを受け物価高騰が続いている。地方自治体は、「住民の暮らし」を守る防波堤としての役割を果たさなくてはならないが、令和8年度予算を見ると不十分だと言わざるを得ないため、本予算に反対する。

賛成(小久保議員)

「各種施策がバランス良く網羅されており、効果的な予算となっている」

令和8年度は過去最大の予算規模となったものの、栃木市消防署北部分署整備事業や栃木文化会館施設整備事業等の市民の生命財産を守り、活力あふれるまちづくりを進める上で不可欠な事業費を計上しており、必要な事業に適切に予算を配分していると評価できる。特に、小中学校の給食費完全無償化に係る予算計上は市民や議会からの要望に応える姿勢が感じられ、大いに評価できる。各種施策がバランス良く網羅されており、効果的な予算となっていることから本予算に賛成する。

過去最大の予算規模

一般会計の当初予算は、(仮称)栃木東地域学校給食センター整備事業、栃木文化会館施設整備事業、栃木インター西産業団地造成事業などの大型事業の実施などにより、過去最大の769億9千万円となりました。

市長からは、「令和8年度予算を『夢や希望あふれる未来へつなぐ予算』と位置付けて市政運営を行っていく。」との説明があり、議会では「予算特別委員会」を設置し予算の妥当性について審査しました。

令和8年度の主な事業や新規・拡充事業

※1万円未満切り捨て

《主な大型事業》

- 北部分署整備事業費
8億8,774万円
- (仮称)栃木東地域学校給食センター整備事業費
12億536万円
- 栃木文化会館施設整備事業費
29億8,681万円
- 栃木インター西産業団地造成事業費
13億165万円

気候変動適応事業費

276万円



気候変動適応計画に係る熱中症や遮熱対策等を推進する。

地域プロジェクトマネージャー活動事業費

102万円



蔵の活用と地域課題の解決を総合的にマネジメントできる人材を雇用し、嘉右衛門町伝建地区と蔵の街大通り周辺の活性化を図る。

学校給食事業費

9億4,710万円



国・県の支援を活用し、児童生徒の給食費を完全無償化するとともに、安全でおいしい学校給食の安定供給のため、調理施設の維持管理、備品購入等を行う。

訪問介護事業所支援補助事業費

140万円



訪問介護事業所に対し運営費の一部を補助することにより、安定的な訪問介護サービスの提供体制の確保を図る。

すくすく子育て応援事業費

1,474万円



出生時に育児用品を購入できるクーポン券と地域子育て支援センターで利用できるお楽しみ券を併せて配付し、子育て世帯を支援する。

5歳児健康診査事業費

35万円



子どもの心身の成長を確認し、安心して育児ができるよう、5歳児健康診査を実施する。

子育て世帯訪問支援委託事業費

411万円



家事、子育て等の支援を行う訪問支援員の派遣などにより、母子保健・児童福祉サービスを切れ目なく提供する。

若者・女性活躍推進事業費

250万円



性別や世代に関わらず、誰もが働きやすい就労環境の構築を目指し、セミナーの開催やアンケート調査等を実施する。

3月定例会で決まったこと(主な議案等)

3月定例会で審査した主な議案等についてお知らせします。
各議案の詳細については、市議会ホームページの議案書をご覧ください。
下記の二次元コードをご利用になると、簡単にアクセスできます。



一般会計補正予算(第8号)

議案第17号
令和7年度一般会計
補正予算(第8号)

可決 全会一致

議案の概要

歳入歳出予算にそれぞれ1億471万3千円を追加し、予算総額を815億2527万6千円とするもの。

《補正予算の主な内容》

- 減債基金積立金 1億3,808万円
 - 庁舎建設基金積立金 5億5,107万円
 - 子どものための教育・保育給付費 3億908万円
 - 小学校設備省エネ化推進事業費 7,051万円
- ※金額は増額(1万円未満切り捨て)

主な質疑応答

在宅寝たきり老人等介護手当支給費および紙おむつ給付委託事業費

質 受給者・利用者減少の理由は

答 両事業は要介護3以上の施設入所者以外の方が対象となるが、現在はいくまでより施設に入りやすくなり、施設に入所される方が増加したことが一因であると考えている。

質 事業の内容は

質 事業の内容は

答 有機農業や化学肥料を低減した取り組み等を行う農家に、10アール当たりの単価として有機農業に1万4千円、堆肥に3千6百円、緑肥に5千円を交付しており、令和7年度の対象戸数は有機農業が8戸、堆肥が2戸、緑肥が2戸である。

公園施設長寿命化対策事業費

質 工事の内容は

答 硬式野球場とプール棟のキュービクルの更新工事を行うものである。

福寿園の休館日変更

議案第33号 栃木市老人福祉センター条例の一部を改正する条例の制定について

可決 全会一致

議案の概要

栃木市老人福祉センター福寿園の休館日を改めるに当たり、条例の一部を改正するもの。

主な質疑応答

質 休館日を木曜日から日曜日に変更する理由は

答 他の曜日と比較し日曜日の利用者数が少ないため、利用実態に合わせた変更を行うものである。



栃木市老人福祉センター福寿園
(千塚町210)

市道路線の廃止と変更

議案第48号 市道路線の廃止及び変更について

可決 全会一致

議案の概要

栃木インター西土地地区画整理事業により不用になった路線等について、道路法第10条第1項の規定により廃止するため、また一部が県道バイパスとして整備された路線等について同条第2項の規定により変更するため、議会の議決を求めるもの。

主な質疑応答

質 市道32128号線の変更理由は

答 旧部屋保育園の利用者の利便性向上のため、私有地の一部を道路用地として借り上げた上で供用してきたが、借地契約が解除となったことから周辺を含めた路線の見直しを行い、市道32128号線の東寄りの一部と市道32130号線を廃止し、南側へ終点位置を変更するものである。

議案等の審議結果

3月定例会では、議案50件、委員会提出議案1件、議員提出議案1件が審査されました。
賛否が分かれた議案等の各議員の賛否は以下のとおりです。

○：賛成 ●：反対 討：賛成または反対討論を行った議員

番 号	件 名	採決結果	1 川田 俊介 真政クラブ	2 小太刀 孝之 創政会	3 市村 隆 真政クラブ	4 雨宮 茂樹 公明党議員会	5 森戸 雅孝 真政クラブ	6 浅野 真之 かがやき	7 小平 啓佑 自民未来	8 大浦 兼政 自民未来	9 針谷 育造 創志会	10 古沢 ちい子 公明党議員会	11 大谷 好一 無会派	12 坂東 一敏 かがやき	13 内海 まさかず 創志会	14 小公保 かおる 公明党議員会	15 青木 一男 自民未来	16 松本 喜一 自民未来	17 梅澤 米満 無会派	18 天谷 浩明 無会派	19 針谷 正夫 かがやき	20 広瀬 義明 自民未来	21 氏家 晃 自民未来	22 福富 善明 真政クラブ	23 福田 裕司 創政会	24 中島 克訓 かがやき	25 大阿久 岩人 真政クラブ	26 小堀 良江 真政クラブ	27 白石 幹男 無会派	28 関口 孫一郎 自民未来
議 案 第 8 号	令和8年度栃木市一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議 案 第 9 号	令和8年度栃木市国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議 案 第10号	令和8年度栃木市後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議 案 第11号	令和8年度栃木市介護保険特別会計（保険事業勘定）予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提出 議案第1号	非核三原則を堅持し、核兵器禁止条約への署名、批准を求める意見書	否決	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※その他の議案等は全会一致で可決されました。

非核三原則を堅持し、核兵器禁止条約への署名、批准を求める意見書 (提出者:白石幹男議員 賛成者:針谷育造議員、内海まさかず議員、天谷浩明議員)



白石議員から、ロシアのウクライナ侵略、イスラエルのガザ侵攻、さらにアメリカとイスラエルによるイラン攻撃が激化し、核兵器使用の危機が現実化しつつあることに対し、唯一の戦争被爆国として核兵器のない世界を実現するため、栃木市議会から国に意見書を提出する提案がありました。これを受けて、3月定例会最終日に意見書案について採決し、賛成少数で否決されました。

【意見書の要望事項】

- 1 国是である「非核三原則」を今後も堅持すること
- 2 唯一の戦争被爆国として、核兵器禁止条約に署名、批准し、核兵器のない世界の実現のため、その先頭にたって、たゆまぬ努力をすること



提案理由の説明、
討論等の映像は
こちら

▶ 議会は傍聴することができます

●議場での傍聴

- ・予約は必要ありません。
- ・市役所本庁舎4階の議場に直接おいいただき、傍聴席入口で、傍聴受付簿（カード）に住所、氏名を記入してください。
- ・車椅子が必要な方は、傍聴される前日までに議会事務局までご連絡ください。

●ご自宅等でも

- ケーブルテレビ（地上デジタル112チャンネル）
リモコンで「11」を選局し、チャンネルの上ボタンを押してください。
- インターネット
議会のホームページからご覧ください。本会議を全て配信しています。



議会中継のページは
こちら



内海 まさかず 議員
創志会

**建設費が高騰しているが、
市民負担は200億円で
済むのか**

県南広域的水道整備事業は、いろいろ問題を含んだ計画である。事業に参画すると、今の水道料金に建設費の200億円が上乗せされるが、この200億円は15年前に県が概算で算出した数字である。建設費はここ数年で値上がりをしており、コロナ禍以降の建設費の高騰を考えると、15年前の建設費では済まないのではない。

この事業を採択した場合、市民が負担する水道料金の値上げ幅はどのようになるのか伺う。

答弁 押山上下水道局長

具体的な検討材料が整っていないため、値上げ幅について回答は難しい

●市民に200億円を支払わせる県南広域的水道整備事業は中止を
○藤岡の農地転用問題
○市民が主体の栃木市を



県南広域的水道整備事業については、県が参画している思川開発事業において県が確保する表流水を水道水として、本市を含む2市1町に供給する事業であり、本市は県および県南関係市町で構成する県南広域的水道整備協議会に参加し、検討部会等において事業の進め方など説明を受け、協議してきた。

栃木市分として示された約200億円という金額は、平成25年の検討部会において県が整備事業経費を水量割合に応じて試算したもののだが、現時点においては、具体的な検討材料が整っていないため、本市において表流水を受水した場合の水道料金の値上げ幅について回答することは難しいと考えている。



一般質問の詳しい内容は二次元コードからアクセス



浅野 貴之 議員
かがやき

教育行政で大切にしてきたことは何か

子どもたちにとって義務教育という大切な時期を預かり、目まぐるしく変わる社会を力強く生き抜く人間を創るため、何を教育の根幹に置いてきたのか。

栃木市教育大綱・教育計画に基づき、具体的に注力した重点施策や事業、その達成度等、これまでの歩みを振り返り、教育長の基本方針と重点施策について伺う。

答弁 青木教育長

最も大切にしてきたのは、「誰一人取り残さない教育の推進」である

教育長として本市の教育の推進に携わり8年となったが常に、そして最も大切にしてきたのは、「誰一人取り残さない教育の推進」であり、

●教育長の教育行政への取り組み
○読書環境の向上
○文化活動の推進



現在展開しているすべての施策の根底にあるコンセプトである。

さまざまな施策の中で、特に注力した事業として2つ挙げるとするならば、1つ目は「とちぎ未来アシストネット事業」であり、学校・家庭・地域・行政が連携・協力しながら、一体となって子どもたちを育む、本市独自の教育システムである。

2つ目は、近年、全国的にも増加傾向にある不登校への対応である。県内で初の取り組みとして、令和4年度から民間団体と密接な連携を図りながら、「不登校を一緒に考える保護者のつどい」を毎年複数回開催した。悩みを抱える保護者を孤立させないことで、不登校状態にある子どもたちへの家庭における対応の改善、また学校とのより良い関係性の構築につながるといった成果が生まれている。

以上2つが数多くの事業の中で、特に注力した事業である。



小久保 かおる 議員
公明党議員会

被害地を拡大させないための 取り組みと今後の対策に ついて

クビアカツヤカミキリの被害地は年々広がっている。繁殖力が非常に高く、幼虫が木に入り込み、内部を食い荒らすことで樹木を衰弱させてしまう。さらに被害が進むと桜の木が枯れ、枝が落ちたり、木が倒れたりすることにより人的被害が発生する恐れもある。

被害拡大防止のためにも市民の方へ周知また地域の力をお借りすることも有効な手立てであると思うが、被害防止の取り組みと今後の対策を伺う。

答弁 茅原生活環境部長

市民参加による講習・体験イベントの開催を予定している

●特定外来生物クビアカツヤカミキリ対策の強化・推進

○小さな拠点づくり

○これまでの質問とその後の対応



被害防止の取り組みとしては、県の防除対策マニュアルに基づき、最も有効とされる、被害木の伐採・処分を進めている。また、被害が小さくまだ花の咲くものや、費用の関係により伐採が難しいものなどについては、薬剤注入や成虫の飛散を防ぐ防護ネットで、被害拡大の防止を図っている。しかし、被害木の増加に対応が追いつかず、枯死などによる倒木等の危険も生じており、行政だけでの対応には限界があるため、今後は、市民や事業者など、地域の皆さまにご協力をいただくことも、必要であると考えている。

このようなことから、令和8年度において、市民参加による防除対策や退治方法などの講習・体験イベントの開催を予定している。

この講習を通して、市民の皆さまに被害の状況を認識いただくとともに、地域全体で対策に取り組むことにより、被害の縮小を図っていく。

一般質問の詳しい内容は二次元コードからアクセス



針谷 育造 議員
創志会

住民の力と丁寧な説明が 事業の中止を決める

事業の可否についての判断項目、人口動態、環境への影響、事業の収益性・効率性の検証結果、住民アンケートの結果、今後の方針と対応について伺う。

答弁 押山上下水道局長

生活排水処理の整備方針を 変更し、住民説明会で丁寧 に説明していく

方針の決定にあたり、栃木市下水道事業経営戦略の考え方に基き、項目ごとに検討した。

人口動態については、新里地区の人口減少率を考慮し、個別処理が合理的であると判断した。環境への影響については、集合処理、個別処理ともに国で定める排水基準値を満たしているものであり、差はないと判

●新里地区の生活排水処理の整備方針の変更

○大川市政の8年間の総括と次に伝えるもの

○少子・高齢化社会に向けて今後の市行政の在り方



断した。
事業の収益性については、長期的な事業経営を考慮し、個別処理が合理的であると判断した。

事業の効率性については、生活排水処理人口普及率の向上を図るには、計画的に整備が進められる集合処理が合理的であると判断した。

さらに、地元住民を対象に実施したアンケート結果においては、回収された147件のうち、集合処理の希望が44件、個別処理の希望が91件、無回答が12件であり、個別処理が多数を占める結果となった。

これらを総合的に判断し、新里地区の生活排水処理の整備方針については、集合処理から個別処理に変更するとした。

今後については、3月中旬に地元住民説明会を開催し、丁寧に説明していく。



川田 俊介 議員
真政クラブ

現状維持は衰退!! 駅前から蔵の街への賑わい や人流の創出を

本市には蔵の街や太平山、渡良瀬遊水地などの観光名所に加え、各地域の農産物や体験型プログラムなど、市内全域に魅力的な観光資源が存在しており、今後はこれらを結びつけ、駅から各観光地への周遊ルートを整備や体験型観光、観光DXの推進、川沿いのナイトタイムのライトアップ事業など、時代に応じた観光施策の再構築が求められている。周遊性や新たな観光コンテンツ、デジタル技術を活用した観光振興など、重点的に取り組む内容を伺う。

【答弁】 高野産業振興部長

デジタル技術を有効に活用し、 滞在時間の延長に取り組む

本市には自然や歴史・文化遺産に

○子どもに対する支援の強化
○更生保護と再犯防止に向けた地域支援体制の強化
●栃木駅前再開発・中心市街地整備を含む観光施策の現状評価と課題認識



加え、イベントや体験型コンテンツなどの観光資源が豊富にあるが、それらが各地域に点在していることから、各観光資源を結びつけ、周遊すること、本市の魅力を存分に感じてもらえると考えている。

これらの観光資源を活用した取り組みとして、市および観光協会のホームページでは、テーマや滞在時間別に作成したモデルルートを案内し、デジタル技術を活用した観光資源データベース「蔵ナビ」では、行きたい場所を選ぶことで、簡単にオリジナルルートを作成することができる。

さらに、今年度は散策ガイドアプリ「蔵ミューゼ」にスタンプラリー機能を追加し、市内観光施設等を巡るデジタルスタンプラリーを実施した。今後も、デジタル技術を有効に活用した観光情報の発信やスタンプラリーなどのイベントを企画し、来訪者の周遊性を高め、滞在時間の延長に取り組んでいく。

一般質問の詳しい内容は二次元コードからアクセス



雨宮 茂樹 議員
公明党議員会

若者に人気のオリンピック 競技でにぎわいの創出を

3×3やスケートボードは、オリンピック正式種目に採用され、若者を中心に人気があり、今後も競技人口の増加が見込まれる。

本市には、優秀なジュニア選手が多く在籍しているクラブもあるが、練習できる施設が少ないため、選手の流出が懸念されている。

競技人口の増加やにぎわい創出のためにも新たな施設整備が必要と考えるが、本市の見解を伺う。

【答弁】 佐山地域振興部長

スポーツ施設の機能の改善 や多用途へ活用するための 再編を行っている

3×3の練習施設は、屋外のバスケットボールのゴールが市総合運動公園、大平運動公園、藤岡渡良瀬運

○第6次「学校図書館
図書整備等5か年計画」
○市内の公園
●3×3やスケートボード
競技での地域活性化



動公園の3か所に計4台が設置されており、スケートボードの練習施設は、わたらせサイクルパークに1か所、民間施設に2か所、計3か所に設置されている。

市では、「栃木市スポーツ施設ストック適正化計画」に基づき、スポーツ施設の適正配置を進め、機能の改善や多用途へ活用できるよう再編を行っており、3×3のバスケットコートは、既存の屋外バスケットゴールを活用し、ラインの設置や安全対策を講じることで比較的低コストで整備できることから、整備を検討していく。

また、スケートボードの練習場は、練習スペースを提供することにより、事故等を防ぐ効果も期待できることから、大平運動公園に増設を計画している西側駐車場を活用を想定し、イベント開催時を除き使用できるよう検討している。



針谷 正夫 議員
かかやき

自主防災組織のなお一層の 設立・育成を!!

先頃、市内の山間部で建物火災が発生し、現場には戦略的に最初に水槽付消防車を到着させた。

火災のあった住宅に隣接する裏山に飛び火したが、隣人の必死の消火活動により山林火災は食い止められ、また別の土手にも飛び火したが、発見者や通行人のバケツ消火により、建物への延焼を防ぐことができた。

火災時、冬の渇水期にも関わらず、消火活動に参加した人が工夫して自然水利を確保したその活動には、自助・共助・公助の姿が見られた。

自主防災組織の設立・育成の推進について本市の見解を伺う。

【答弁】 狐塚危機管理監

活動の補助金や出前講座による啓発を通して、継続的に支援する

●林野火災と近隣住宅への延焼を未然に防いだ建物火災消火作業の教訓



自主防災組織の設立や育成については、組織の設立や活動に対する補助金により防災用資機材の購入を補助するとともに、出前講座を通じて防災活動や組織の設立方法の啓発を行うことで、各地域における活動への支援を行っている。

また、地域防災活動においては、住民同士の結束と、災害時の行動ルールが大変重要となることから、本市では、地区住民の行動計画となる「地区防災計画の策定支援」にも取り組んでいる。

今後、こうした取り組みを継続し、本市の地域防災活動全体の向上を図っていく。



水槽付消防車

一般質問の詳しい内容は二次元コードからアクセス



白石 幹男 議員
無会派

「小さな拠点づくり事業」推進は、 市の支援、サポートが重要

寺尾中学校の廃校後の利活用については、公募によらず、行政財産として活用し、その活用方法として、国が進める「小さな拠点づくり事業」を検討していくとした。

小さな拠点づくり事業を成功させる上で、事業の主体となる地域住民、地域の力をどのようにまとめていくかが課題となる。その課題を乗り越えていく上で、市の支援、サポートが重要と考えるが、見解を伺う。

【答弁】 癸生川総合政策部長

各段階に応じて、必要な支援を行っていく

小さな拠点づくりにおける市の役割は、各段階で変わっていく。

まず、検討段階では、寺尾地域は住民主体でまちづくりについての検討

- 皆川中学校の廃校後の利活用
- 寺尾中学校の廃校後の利活用
- 道路整備
- 学校給食費無償化



討や取り組みが進められてきた地域であり、検討体制の構築や運営協議の進行についても、ある程度積み重ねてきた実績があるため、市は地域の自主性や主体性を尊重して、主にオブザーバーとして検討体制に参画し、地域での協議が円滑に進むよう、必要に応じて情報提供を行ったり、事業活用等の相談に応じるといった側面的な支援を行っていく。

次に、小さな拠点を立ち上げ、運営する段階では、複数の事業を行うことが想定されるので、市は関係課との調整を分野横断的、総合的に支援することで、小さな拠点での取り組みを持続可能なものとしていく。



寺尾の象徴「三峰山」
小さな拠点づくり事業の実施が検討されている寺尾地区



市村 隆 議員

真政クラブ

本市のまちづくりの課題は

今まで何度か栃木駅南口周辺の再開発を提案してきたが、私の南口周辺のまちづくりへの思いは、あまり執行部に届かなかったように思う。

誰も駅周辺が今のままで良いとは思っていないのではないかな。

今後も都市建設事業を通じて産業振興を訴えていきたいと思うが、産業振興を推進しながら財政改革を断行する気概が本市にあるのか、疑問に思う。

都市建設の視点から見た本市のまちづくりの課題について伺う。

答弁 橋本都市建設部長

都市基盤の老朽化や中心市街地における空洞化の進行等が挙げられる

本市のまちづくりの課題は、急速な人口減少や少子高齢化に伴う人口

●都市建設事業

○公共工事の円滑な施工を図るための意見交換会

○合併の総括



動態の変化に加え、公共施設等の都市基盤の老朽化や中心市街地における空洞化の進行などが挙げられ、厳しい財政状況の下で持続可能な都市を形成していくことが求められている。このような課題に対応するため、コンパクトなまちづくりに向けた施策を進めており、栃木市中心市街地地区において、都市再生整備計画を作成し、栃木文化会館の改修や旧栃木警察署跡地の観光交流拠点の整備などを行っている。

また、市街化調整区域では、地域コミュニティの維持を図るとともに、栃木市産業基盤成長戦略により企業を誘致し、自主財源の確保につなげることも重要であると考えている。

市全体の土地利用のバランスを考慮しながら、第2次栃木市総合計画や栃木市都市計画マスタープランに基づき、歴史や文化が息づく、安全安心で暮らしやすいまちづくりを推進していく。

一般質問の詳しい内容は二次元コードからアクセス



広瀬 義明 議員

自民未来

栃木市のイメージ向上のための動画の作成を！

現在、情報が溢れる中で、そこから得られるイメージは重要である。耳から聞くキャッチコピー、目から見る情報によって、与えられるイメージは大幅に変わると考える。

栃木市のイメージ向上と来訪者増に向けて、キャッチコピーとイメージ動画の制作・配信が有効ではないかと考えるが、イメージ動画の制作・配信に関する市の見解を伺う。

答弁 癸生川総合政策部長

新たなキャッチコピーや動画の制作・活用等を含め、検討していく

本市では、平成29年度に現在のキャッチコピーである「あるが嬉しいゆるやか栃木市」に合わせた約2分間のシティプロモーション動画を

○栃木市役所のハラスメント
●栃木市のイメージ戦略



制作し、YouTubeや市のホームページで公開するとともに、Facebook、X等のSNSへも掲載・配信しPRを図ってきた。

動画では、蔵の街並みなどの風情ある景観のほか、いちご狩りや熱気球などの体験型観光を映像で紹介しており、本市の豊かな自然や歴史、各地域の特色ある資源や多彩な体験を通して、本市の魅力を幅広く発信する内容となっている。

しかし、動画の制作から10年近くが経過し、この間、サッカーや女子野球、コウノトリ等、本市の魅力として新たな資源も育ってきていることから、今後、新たなキャッチコピーや動画の制作・活用等を含め、本市のイメージを市内外の多くの方に効果的に伝えるための手段や手法について検討していく。



▶「令和8年度予算編成に向けた要望書」を市長に提出しました

本市議会は、議会改革検討委員会（※）からの提案を受け、新たな取り組みとして、令和7年10月28日に「令和8年度予算編成に向けた要望書」を大川秀子市長に提出しました。

本市を取り巻く環境は、少子高齢化や物価高騰などさまざまな問題を抱え、市民生活は厳しい状況にあり、本要望書は、令和6年度の各決算の成果や課題等を令和8年度当初予算の編成に反映していただきたいという趣旨から提出するものです。

決算審査の結果や各議員に市民の皆さまから寄せられるご意見等をもとに、議会からの視点により、常任委員会単位で取りまとめたもので、総務常任委員会が12項目、民生常任委員会が10項目、産業教育常任委員会が6項目、建設常任委員会が5項目、合計33項目を記載しました。

主な要望事項とその対応状況

●遺児手当に関すること

【要望内容】

現在は義務教育課程修了までが給付対象となっているが、義務教育課程以後も学校に在籍する生徒が多く、年齢が上がるほど必要となる金額も増加する傾向にあるため、市独自の補助を設けることなどにより、給付対象年齢の引き上げを要望する。

【対応状況】

給付対象年齢の引き上げについては、栃木市遺児手当支給条例の一部改正を行い、令和8年4月から義務教育修了前の者（中学生）から満18歳の者（高校生）までとする方向で予算を計上している。

→ 令和8年4月1日から給付対象年齢が高校生まで拡大された。

●小学校体育館へのエアコン設置に関すること

【要望内容】

暑さが増している昨今においては、小学校体育館へのエアコン設置の必要性は大きく増していることから、早期の設置を要望する。

【対応状況】

小学校体育館へのエアコン設置については、令和8年3月議会に実施設計業務委託料の補正予算を計上したところであり、令和8年12月議会を目途に空調設備設置工事費を補正要求し、工事に着手したいと考えている。

→ 令和11年度までにすべての小学校体育館に空調設備が設置される予定。（中学校は設置済み）



※議会改革検討委員会とは

議会改革検討委員会は議長の諮問機関として、近年の著しい社会経済情勢の変動等により、多様化および複雑化している市民の要望等、市政の課題に迅速かつ的確に対応するため、継続的に議会改革について検討を行う組織。

令和7年度は、令和8年度予算編成に向けた要望書の作成のほか、予算・決算特別委員会の審議方法の見直しや栃木市議会政治倫理条例に議員による審査請求の規定を設けることなどを議論し、議長に提言した。

▶ 議会から市長へ3項目を提言（議会報告会開催に伴う提言書）

令和7年度の議会報告会は、世代等の異なるより多くの市民の皆さまに発信するため、書面や動画などのさまざまな方法によって議会の活動を発信し、アンケートでは市民の皆さまから幅広く報告事項や市政全般に関するご意見を伺いました。また、意見交換会では、「栃木市の農業の将来・食の安全と安定供給について」を大きなテーマとし、農業の抱えている課題と10年後の栃木市の農業の未来像について、各地域の農業従事者の方を対象に、市内2会場で意見交換を行いました。

これらの方法により集約した意見の中から、特に重要な課題と考えるものを提言書としてまとめ、市長に提出しました。

さらに、一般質問での政策提言や常任委員会での審査等を通して、いただいたご意見が実現できるよう積極的に取り組んでまいります。



詳しくは
こちら



提言事項1

～農業を続けていくための補助金や支援の拡充を！～

農業存続のための支援について

- ① 資材・農機具購入への支援
- ② 有害鳥獣対策の強化
- ③ 大規模農家・新規就農者に限らない幅広い支援を

提言事項2

～これからの食を安全に、安定的に供給するためにも、
農業従事者の確保を！～

農業従事者の確保について

- ① 農業に関わる人材の育成
- ② 耕作放棄地の活用
- ③ 安定した収入の確保
- ④ やりたいと思える職業に

提言事項3

～多くの人が農業に興味を持ち、就農することで、
本市の活力向上・地域活性化に期待！～

地域農業の活性化について

- ① 農業の魅力の発信
- ② 若者の意見の尊重
- ③ スマート農業参入への支援
- ④ 地産地消の促進



表紙の写真

未来へつなぐ安心と安全 ～市内で進む治水事業～

栃木市では令和元年東日本台風に伴う記録的な豪雨により、甚大な被害が発生したことを受け、永野川および巴波川における治水対策が着実に進められています。永野川においては、河道掘削、護岸、堤防かさ上げの工事がほぼ終了し、橋梁の架け替え工事が行われています。

また、巴波川では河川の拡幅による改修は極めて困難な状況であるため、道路の地下等を活用した捷水路工事が現在進められています。床上浸水被害を解消し、歴史的風致建造物を含めた、歴史ある蔵の街の生命と財産が守られていきます。

（表紙担当：川田副委員長・小太刀委員）



▶ 物価高騰対策を中心とした補正予算等を可決（1月臨時会）

1月26日に開催された臨時会では、国から交付される「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を財源に市民や市内事業者を対象とした各種物価高騰対策事業を早急に実施するために、令和7年度一般会計補正予算（第7号）が審議されました。

なお、補正予算のほか、議案7件が審議され、全て原案のとおり可決されました。



《補正予算の主な内容》

- 物価高対応子育て応援手当＆
プラス支給事業費 6億632万円
 - 省エネ家電買換え促進事業費 8,300万円
 - 水道事業会計補助金 3,775万円
 - 物価高騰対応生活者支援商品券
配布事業費 10億5,630万円
 - 下水道事業会計補助金 4,000万円
- ※金額は増額（1万円未満切り捨て）

▶ 学校法人陽光学園ひまわり学童クラブ補助金に関する調査特別委員会（百条委員会）についてお知らせします

本市議会では、令和7年9月に、学校法人陽光学園ひまわり学童クラブ補助金に関する調査特別委員会（百条委員会）を設置し、同補助金の交付手続きや活用状況について調査を行ってききましたので、その経過について報告いたします。

この補助金には、特別委員会の設置までに行われた市の担当課の調査において、対象外経費が含まれるなど不適切な部分があったことが発覚しており、そのことが調査実施の発端となりました。

特別委員会は、地方自治法第100条により議会に与えられた調査権限に基づいて、①補助金交付事務に関係した市職員、②補助金交付を受けた学校法人陽光学園の関係者、③同法人から依頼を受けて工事等を行った事業者に対して、関係する記録の提出や証人喚問への出頭を要請し、そこから得た情報を元に調査を行いました。そのほかにも、関係自治体に出向いての聴き取り調査や第三者の専門機関による調査等も行い、調査報告書の取りまとめまでに計26回の会議を実施しました。

調査報告書が3月定例会最終日の本会議に提出され、議会での可決をもって調査は終了となりました。

調査報告書では、市の事務処理における改善事項や改めて調査を実施の上で対応すべき事項などを指摘しています。詳細は市議会ホームページをご覧ください。

調査特別委員会 構成（計11名）

委員長 内海 まさかず 副委員長 大浦 兼政
委員 針谷 育造 松本 喜一 青木 一男 広瀬 義明 氏家 晃
小平 啓佑 白石 幹男 天谷 浩明 関口孫一郎



詳しくはこちら

佐藤 祐樹 さん（担当：小平委員）

- A1** これまでよりも、モニターとして広報紙を拝読することになりましたので、自分事のように捉えるようになり、政治参画意識が高まりました。
- A2** 問責決議が連続しています。これまでも同様なことがあったが潜在していたけど現在では顕在化している、そのような理解を職員や議員の方々からお聞きしました。市民の模範になるような記事の発信を期待します。



高瀬 愛子 さん（担当：白石委員長）

- A1** 一般質問の内容が二次元コードで開けるのは、市民にとってとても良いと思います。市民の関心が向けられることを願います。百条委員会の内容を分かりやすく書いてほしい。介護事業者の救済を求める陳情が採択されて良かったです。住みやすい栃木市にしてほしいです。
- A2** 無駄な表流水にお金をかけないで、おいしい水（地下水）が飲めるよう取り組んでほしい。
栃木の町並みを守るためにも中小業者に支援を望みます。



渡邊 里美 さん（担当：小太刀委員）

- A1** 広報紙を継続して読むことで市の取り組みを身近に感じました。図や写真で分かりやすく、市政への関心が高まりました。モニターとして参加できたことは、市政への関心を持つ良いきっかけになったと思います。
- A2** 今後も市民に分かりやすい情報発信を期待します。
市の取り組みや議会での議論が、さまざまな媒体を通じて伝えられることで、市民の理解や関心が深まり、よりよい栃木の町おこしの実現に繋がって欲しいと思っています。



議会広報紙モニターとは

さまざまな年代、性別、ライフスタイルの市民の方に議会だよりを定期的にお届けし、議会だよりを読んだ感想をアンケート形式で回答いただいています。

議会広報紙モニターからいただいた意見は、議会だよりを作成する広報委員会で報告し、紙面の充実に役立てさせていただいています。

また、モニターインタビューとして議会だより各号につき、1人以上の議会広報紙モニターに委員がインタビューを行った記事を掲載しています。

議会広報紙モニターの任期は、2年となっており今回総括アンケートに回答いただいた皆さまには栃木市議会だより第63号から第69号の作成にご協力いただきました。



約2年間にわたり議会広報紙作成にご協力いただき、ありがとうございました。



モニター総括アンケート

Q1 議会モニターとして、議会だよりを読んだ感想をお聞かせください。

Q2 今後、栃木市議会や議員に望むことは何ですか。



天谷 美妃 さん（担当：浅野委員）

A1 今回、広報紙モニターをやってみて全く興味がなかった議会のこと、政治や行政について市民として興味を持ち学ばなければならないことがたくさんあるんだなと思いました。

A2 市議会議員の方たちは、市民の代表ということを忘れずに何事に対しても公平に判断してほしいと思います。
市民の代表なので党派に関係なく正当でいてほしいです。



雨宮 沙織 さん（担当：小久保委員）

A1 モニターになったことで、議会だよりを隅々まで読むようになりました。自分の周りの友人にも議会がどんなことをしているか伝えていきたいなと思いました。

A2 毎回一般質問をしている議員さんが少ないと感じたので、毎回全議員さんが質問してくれるといろいろな視点の意見が出て良いのかなと思います。



内田 樹 さん（担当：川田副委員長）

A1 地域未来を真剣に考える議論が行われていることに安心しました。これからも地域のために前向きな議論が続くことに期待します。

A2 地域住民の声をしっかりと受けとめ、課題に対して誠実に向きあう姿勢を大切にしてほしいです。

将来の世代を見据えた持続可能な取り組みに期待します。



佐々木 勝郎 さん（担当：内海委員）

A1 広報の表紙は季節感があり良いと思います。

写真の場合、撮影者の名前なののでしょうか。担当者とは表紙を選んだ人なののでしょうか。もし撮影した人がいる場合は隅に名前を記入しても良いと思いますが…。

A2 せっかく市民に選ばれて議員になったのですから4年間ほとんど発言しないで終わるとしたら非常に残念でもったいないと思います。
もっと積極的に発言をしていただきたいと思います。

MONITOR
INTERVIEW

43

モニターインタビュー No.43

議会だよりの紙面を充実させるため、アンケートにご協力をいただいている「議会広報紙モニター」にインタビューするコーナーです。（今回のインタビュアー：白石委員長）



議会広報紙モニター
高瀬 愛子さん

Q：今の物価高をどう思いますか

A：世界的な政情混乱が物価高の原因だと思います。何もかも物価が上がり、それにプラス消費税なので、家計は火の車です。政治の力でなんとかしてほしいです。せめて消費税を5%にしてもらえば少しは楽になるかなと思います。

Q：栃木市政に望むことは何ですか

A：年金生活者としては、国保税、介護保険料が年金から天引きされ、そのうえ、物価が上がっても年金は下がり、生活が苦しくなるばかりです。国保税、介護保険料を引き下げてください。家計を応援する対策を拡充してほしいです。

Q：議会広報のあり方について望むことがありますか

A：学童保育の施設改修補助金をめぐり、百条委員会が設置されましたが、市民にはその情報がまったく入ってきません。原則公開になっているそうですが、一般市民はなかなか傍聴に行けません。常任委員会も含めて、ケーブルテレビの中継やインターネットによる配信を望みます。議会に対して、市民の関心も高まると思います。

改選後の議員は臨時号で紹介します

令和8年4月19日に栃木市議会議員選挙が行われました。

当選した議員は、6月19日発行予定の第70号（臨時号）で紹介します。



栃木市
マスコットキャラクター
とち



あとがき

今号は、令和8年度当初予算の審議を中心に、議会の新しい取り組みである予算要望書の提出とその結果について、百条委員会の経過報告について等、特色のある記事内容です。

そして、現在の広報委員会は、議員の任期が終わりまして、今号が最後の編集になりました。

これまで7名の広報紙モニターさんたちのご協力や多くの市民の方々からの議会だよりへの反響を頂戴し、充実した広報活動ができましたことに感謝を申しあげ、編集作業を閉じさせていただきます。たださます。



（小平 啓佑 記）

栃木市議会広報委員会

委員長
副委員長
委員

白石 幹男
川田 俊介
浅野 孝之
小平 啓佑
内海 まさかず
小久保 かつおる

目の不自由な方のために、市内の朗読ボランティアが議会だよりの音声テープを作成しておりますので、ご入用の方はお気軽に議会事務局までお問い合わせください。（TEL：0282-21-2505）